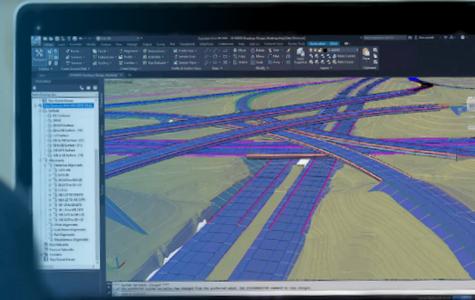


# Civil 3D の共同作業に最適なソリューションをお選びください

エンジニアリング会社がプロジェクトを加速させて利益を拡大するためには、設計作業をうまく調整し、プロジェクト納期を守り、レビュー サイクルを効率的に実施するうえで最適な方法が必要です。適切な共同設計 ツールを導入すれば、対応業務の幅を広げ、プロジェクトチームの共同設計を促進し、厳しい納期を守りながら、さらに大きな成果を上げることが可能になります。



## Civil3D での共同設計を強化する機能:



**A. 基本的なファイル共有とデータ交換:** 設計図やモデルを読み取り/書き込み可能な形で共有したり、フォルダ/プロジェクトレベルでユーザー権限を設定することができます。



**B. クラウドベースで設計ファイルやデータを参照:** 同じオフィスにいるチームから、遠隔地にいるチーム、会社のファイアウォール外部にいる協力会社まで、リアルタイムでコラボレーションしながら設計プロセスを進めることができます。



**C. バージョン管理とファイル比較:** 設計ファイルの前バージョンにいつでもアクセスできます。また、繰り返し変更されたファイルやシート レイアウトを横並びまたは重ね合わせて表示し、設計の変更を追跡することができます。



**D. レビュー/承認ワークフロー:** 承認ワークフローを定義し、プロジェクトのステータスを管理できます。



**E. オフィス PC やモバイルから指摘事項を特定し、マークアップを作成:** 主任やプロジェクト マネージャーなどを含む広範な関係者が設計の進捗を確認し、大きな変更を把握できるようになります。



**F. プロジェクト ライフサイクル全体のデータを 1 つのリポジトリで一元管理:** プロジェクト ライフサイクル全体を通じてデータの連携を維持することで、エラーが減り、責任の所在が明確になり、プロジェクト デリバリーが加速します。

## Civil 3D での共同設計をソリューション別に比較

	サーバーベース (例: VAULT)	プロジェクト デリバリー用サーバー アプリ	FTP サイト	業務用ファイル共有ク ラウド アプリ	WAN アクセラレーター	BIM 360 <sup>*</sup> DESIGN
基本的なファイル共有と データ交換	✓	✓	✓	✓	✓	✓
企業内の Civil 3D による 共同設計	✓	✓				✓
複数企業間の Civil 3D による 共同設計	✓	✓				✓
バージョン管理とファイル比較						✓
レビュー/承認ワークフロー						✓
会社 PC またはモバイルから 指摘事項とマークアップを管理						✓
1 つのリポジトリでデータを 一元管理			✓	✓	✓	✓

\* BIM 360 Design にはドキュメント管理モジュール、管理者モジュール、その他 BIM 360 Docs のさまざまなモジュールが搭載されています。

短期的に見れば、FTP サイトは便利に見えるかもしれませんが、また、既存のローカル サーバーにプロジェクトの設計ファイルを保存するほうが安価に感じるかもしれません。

しかし、BIM 360 Design は業界で唯一の、Civil 3D と Revit 向けのクラウドベースの共同設計ソリューションです。異なる分野や企業の壁を超えて共同設計を行うことが可能になります。BIM 360 Design は、変更内容を可視化する機能、指摘事項とコメントの管理機能、モバイル デバイスでのマークアップ機能など、プロジェクトチームに包括的なソリューションを提供します。プロジェクト ライフサイクル全体を通じて設計データを一元管理することが可能になります。

## 共同設計ソリューションの価格を比較してみましょう

	サーバーベース (例: VAULT)	プロジェクト デリバリー用 サーバー アプリ	WAN アクセラレーター	BIM 360 DESIGN
ハードウェアの費用	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	-
ハードウェアのセットアップ - 人件費	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	-
毎週のメンテナンス - 人件費	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	-
サーバー ソフトウェアのライセンス購入	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	-
ソリューション ソフトウェアの ライセンス購入	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ

サーバーベースのアプリケーションの設定と維持には費用と時間がかかるうえ、モバイル デバイスでマークアップや指摘事項管理、設計レビューする機能はありません。

また、データとワークフローを一元管理できない非連携型ソリューションの場合、データの移動が必要な場合に問題が発生して生産性が損なわれたり、建築・建設プロジェクトの複雑なライフサイクルに対応できないこともあります。

さまざま異なるソリューションを複数使用すると、こうした手間が生じます。費用のかさむ遅延や手戻り作業をなくし、最大限に効率化して対応業務の幅を広げましょう。

**BIM 360 Design があれば、Civil 3D と Revit でいつでもどこでもコラボレーションすることが可能になります。**

**詳細は [www.autodesk.co.jp/products/bim-360-design/overview](http://www.autodesk.co.jp/products/bim-360-design/overview) をご覧ください。**

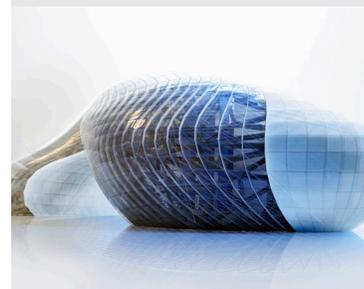
Autodesk と BIM 360 は、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。© 2019 Autodesk, Inc. All rights reserved.



## Vault をお使いですか？

Vault は設計データを安全に管理するオンプレミスソリューションです。BIM 360 Design は社内外のプロジェクト メンバーとコラボレーション可能なクラウドソリューションです。

[詳細はこちら >](#)



## BIM 360 Design と Revit をご利用の方へ

Revit はインフラ プロジェクトに役立つソフトウェアです。Civil 3D から BIM 360 にアクセスすることもできるようになりました。BIM 360 Design の拡張機能によって、Revit ユーザーと Civil 3D ユーザーの連携が実現します。

[詳細はこちら >](#)